



デング熱について



感染管理担当看護師長 桃井 祐子

昨年夏に約 70 年ぶりに国内感染の患者が発生し、都内を中心に約 160 人の患者が報告されました。今年は都内で 37 名報告（7 月 19 日時点）されており、いずれも海外での感染者です。その人たちを発端に昨年同様、今年も国内発生が予想されます。ご注意ください。

デング熱は、デングウイルスを持った蚊（日本国内では、ヒトスジシマカ）に刺されることによって感染しますが、人から人に直接感染することはありません。蚊に刺されてから 2～14 日ほどして、突然の高熱、関節痛・筋肉痛・目の奥の痛み、発しんなどが出現します。通常 1 週間程度で自然に回復します。

予防対策としては、

○緑の多い木陰やヤブなど、蚊の発生しやすい場所に立ち入る際には、長袖シャツ・長ズボンなどを着用して肌を露出しないようにし、素足やサンダル履きはできるだけ避けましょう。必要に応じて虫よけ剤などを使用しましょう。

○建物の中に蚊が入り込まないように、ドアや窓の開け閉めを減らし、網戸や殺虫剤を使用しましょう。

○蚊を増やさないように、屋外に雨水がたまる物を置かないようにしましょう（空き缶や植木の受け皿など）。